



2024年4月4日

各 位

会 社 名 株式会社日本色材工業研究所  
代表者名 代表取締役社長 奥村 華代  
(コード:4920 スタンダード市場)  
問 合 せ 先 取締役企画・経理部長 霜田 正樹  
(TEL. 03-3456-0561)

通期業績予想の修正、並びに減損損失（連結決算）、子会社株式評価損（個別決算）、繰延税金資産の計上、及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年10月6日に公表しました2024年2月期（2023年3月1日～2024年2月29日）の通期の業績予想を、下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。また、減損損失（連結決算）、子会社株式評価損（個別決算）、繰延税金資産の計上、及び配当予想の修正についてお知らせいたします。

記

1. 通期業績予想の修正

(1) 2024年2月期通期連結業績予想数値の修正（2023年3月1日～2024年2月29日）

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	14,834	482	423	348	166.51
今回修正予想 (B)	15,050	441	407	398	189.96
増減額 (B - A)	215	△40	△15	49	
増減率 (%)	1.5	△8.4	△3.6	14.1	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	11,760	161	148	246	117.52

(2) 2024年2月期通期個別業績予想数値の修正（2023年3月1日～2024年2月29日）

	売 上 高	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,002	119	148	71.04
今回修正予想 (B)	10,261	261	△89	△42.71
増減額 (B - A)	259	142	△238	
増減率 (%)	2.6	119.7	—	
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	8,686	153	268	128.34

### (3) 通期業績予想の修正の理由

2024年2月期の連結会計年度におきまして、新型コロナウイルス(COVID-19)の感染状況は鎮静化が進み、経済・社会は大きく正常化しました。化粧品市場におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響が軽減、個人消費はメイクアップ製品を中心に新型コロナウイルスの感染拡大前を依然下回っておりますが、足元、マスク着用は徐々に減り、消費マインドも大きく改善しており、受注は回復しつつあります。

#### (個別業績)

当社グループにおきましても、国内・海外の化粧品メーカーからの受注は回復・増加しつつあり、個別業績におきまして、売上高は前回発表予想を上回る見込みです。利益面では、引き続きつくば工場第3期拡張等により諸費用が増加、加えて原材料費や人件費、各種経費等もインフレで上昇している中ではありますが、受注の回復で生産設備の稼働が向上、各種コスト圧縮努力もあって、経常利益は前回発表予想や前期実績を上回る見込みです。当期純利益は、後述する連結子会社 Nippon Shikizai France S.A.S. (以下、「日本色材フランス社」という)の子会社株式評価損と、繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の計上もあり、前回発表予想を下回る見込みです。

#### (連結業績)

連結業績におきましては、日本色材フランス社は予想を下回るものの、個別業績と連結子会社 THEPENIER PHARMA & COSMETICS S.A.S. (以下、「テプニエ社」という)において受注が回復しつつあることから、売上高は前回発表予想を上回る見込みです。利益面では、受注の回復で生産設備の稼働が向上しましたが、テプニエ社で急激な生産増に伴うコストが嵩んだことや、日本色材フランス社では大口受注の稼働の遅れなどもあって業績の回復が遅れたこともあり、営業利益や経常利益は前期実績を大きく上回るものの前回発表予想を下回る見込みです。親会社株主に帰属する当期純利益は、後述する日本色材フランス社に係るのれん等の減損損失と、当社で繰延税金資産の計上に伴う法人税等調整額の計上もあり、前回発表予想を上回る見込みです。

### 2. 減損損失(連結決算)の計上について

当社が2017年に買収した連結子会社である日本色材フランス社は、新型コロナウイルス感染症まん延の影響も受けて、買収当初の計画に対して業績が下回っており、諸会計基準に則って直近の業績の動向を踏まえた将来の回収可能性を検討した結果、同社に係るのれんと固定資産について、減損損失として125百万円を特別損失に計上する見込みです。

しかしながら、当社と致しましては、日本色材フランス社は、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けて業績が買収当初の計画を下回ったとは言え、当社グループのグローバル展開の一翼を担う重要な子会社という位置づけは変わらず、引き続き支援を継続していく方針です。

### 3. 子会社株式評価損(個別決算)の計上について

当社が保有する連結子会社である日本色材フランス社の株式について、「金融商品に関する会計基準」に基づき評価をした結果、諸会計基準に則れば株式の時価が著しく低下しているものと見做されるため、子会社株式評価損として550百万円を特別損失に計上する見込みです。

なお、当該子会社株式評価損は、当社の個別財務諸表のみに計上されるものであり、連結決算においては消去されるため連結業績への影響はありません。

### 4. 繰延税金資産の計上について

当社は2024年2月期及び今後の業績動向等を踏まえ、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、回収可能性が見込まれる部分について繰延税金資産を計上することとし、繰延税金資産の計上に伴い発生した法人税等調整額(△は利益)を、連結ベースで△210百万円、個別ベースで△200百万円計上する見込みです。

## 5. 2024年2月期の配当予想の修正

### (1) 修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
前回発表予想		10.00	10.00
今回修正予想		20.00	20.00
当期実績	0.00		
(ご参考) 前期実績 (2023年2月期)	0.00	0.00	0.00

### (2) 修正の理由

2024年2月期の配当予想につきましては、日本色材フランス社に係る減損損失や子会社株式評価損の影響がありましたが、連結業績における親会社に帰属する当期純利益は前期実績を上回る見込みで、個別業績においても本業の業績を表す経常利益では前期実績を上回る黒字を計上する見込みのため、復配を実現させていただき予定です。

ただし、当社におきましては、新型コロナウイルス感染症のまん延による業績悪化で下がった自己資本比率を回復、財務安定性を回復させつつ持続的成長を実現していくことも必要と認識しております。利益の水準と自己資本の充実に向けた内部留保の必要性双方を勘案した結果、今般の配当金額につきましては、内部留保を優先しつつ連結業績における利益水準が前期実績を上回ったことを反映し、1株当たり20円を予定しております（従来の予想は1株当たり10円）。

(注) 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後発生する様々な要因により当該予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上